

【自治体編：事例（15）】

豊田市

- ・人口は、約42万人
- ・中部経済圏の中心である名古屋市から25kmの距離
- ・自動車関連企業が集積



★小型家電等の分別・回収メリットは？

- ① 廃棄物から循環資源への転換（回収した小型家電は“希少金属の回収のため有価物”として売却）
- ② 環境負荷の低減（ガス化溶融炉における飛灰中の金属（銅など）の含有量低減対策）
- ③ キレート剤の削減（約4千万円／年）



★小型家電等回収のきっかけは？

- ① 平成21年度「使用済小型家電からのレアメタルリサイクルモデル事業」に応募したが、不採択となったことから、市でできる範囲を試行として実施。
- ② 平成22年10月から本格実施に移行し、小型家電を含む電化製品を毎月6トン程度をピックアップ



★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・金属ごみ中の電化製品全般（家電リサイクル法の対象品目を除く）及び電線

★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのぐらい？

- ・平成21年11月から平成23年3月までのピックアップ実績で、計103トン。そのうち小電（手解体量）は約59トン。

★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・ごみステーションから回収し、委託業者に集められた金属ごみの中から委託業者がピックアップを実施。

★小型家電等の売却価格は？

- ・0.5円/kgで実施

■提携事業者

○トヨキン株式会社

■問い合わせ先

豊田市環境部ごみ減量推進課

電話：0565－71－3001